

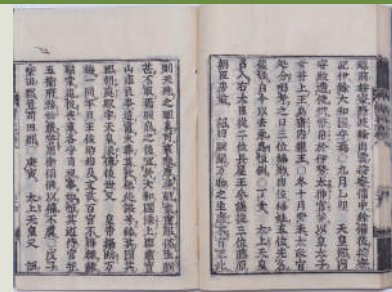
2020.10.23(金) 13:30▶15:00

飛鳥・奈良時代の齋宮と齋王

齋宮歴史博物館

講師 学芸普及課 天野 秀昭 さん

天皇に代わって伊勢神宮に仕えた未婚の皇女・齋王。飛鳥・奈良時代は、伊勢齋宮に齋王が派遣される齋宮制度が確立し整えられた時代です。この時代の齋宮と齋王について、齋王退下後に光仁天皇の皇后となり、その後政争に巻き込まれて非業の死を遂げた井上内親王のエピソードや今年50周年を迎えた齋宮跡の発掘調査成果も交えて紹介します。



『続日本紀』の井上内親王が齋王に定められた記事 (齋宮歴史博物館蔵)

2020.10.31(土) 13:30▶15:00

やまとたけるのみこと

日本武尊 ~日本書紀は語る~

亀山市歴史博物館

講師 学芸員 中川 由莉 さん

養老4年(720)の編さんから1300年を迎えた日本書紀。日本書紀が語る日本武尊の生涯は、伊勢国の能褒野でその幕を閉じます。その一生には、伊勢神宮や尾津といった三重県内の場所が登場します。日本武尊の物語とともに能褒野王塚古墳が日本武尊の墓となっていく歴史についてご紹介します。



日本武尊

2020.11.18(水) 13:30▶15:00

大黒屋光太夫 一帝政ロシアを見た船頭一

大黒屋光太夫記念館

講師 鈴鹿市文化スポーツ部 文化財課 代田 美里 さん

伊勢国白子湊(現・鈴鹿市白子)から船出し、ロシアに漂着した大黒屋光太夫は、苦難を乗り越えてセントペテルブルグへ到達し、皇帝エカテリーナII世に謁見、帰国を許されます。約10年にわたるロシアでの漂泊の日々の中で、彼は何を見て、何を日本へ持ち帰ったのか。波乱に満ちたロシアでの軌跡と帰国後の功績に迫ります。



大黒屋光太夫ロシア文字墨書「つる」



ミュージアムセミナー会場はすべて **三重県生涯学習センター2階視聴覚室**です。
※各ミュージアムではありません。

申込・問合せ

MIE CENTER FOR THE ARTS 三重県総合文化センター

三重県生涯学習センター (3階事務室)

tel.059-233-1151
fax.059-233-1155

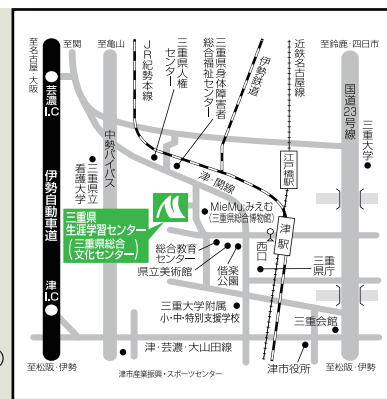
インターネットで検索

三重県学習

検索

- 〒514-0061 津市一身田上津部田1234
- E-mail: manabi-kouza@center-mie.or.jp
- ホームページ: www.center-mie.or.jp/manabi/
- 休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌平日)
- 開館時間: 9:00 ~ 19:00

三重県生涯学習センター ホームページ



■鉄道/近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅」下車 徒歩約25分 ■バス/津駅西口から約5分(三重交通路線バス)
※駐車場混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

ご記入いただいた個人情報は、講座に関する連絡のために使用させていただきます。なお、お預かりした個人情報は、個人情報保護法に基づき、適切に管理いたします。個人情報に関するお問い合わせは公益財団法人三重県文化振興事業団総務部(Tel: 059-233-1103)までお願いします。

申込用紙 みえミュージアムセミナー 希望講座にチェック

受付日【 月 日 】
受付方法【 FAX 来館 】

10/23 齋宮歴史博物館

10/31 亀山市歴史博物館

11/18 大黒屋光太夫記念館

名前	フリガナ	☎	()
名前	フリガナ	☎	()

名前(フリガナ) 電話番号をご記入ください